

EGOTERIC

D-70 upgraded

バージョンアップの内容

D-70バージョンアップサービスにお申し込みいただき、誠にありがとうございます。

「エンテリック」のバージョンアップ機は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに組み立てております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

内部クロックを高精度化

高精度水晶発振器(±3ppm以内、精度従来比10倍以上)を搭載、より精度の高いD/A変換を実現します。

RAM Linkで入力ジッターを取り除き、高精度クロックによりD/A変換を行うというD-70の基本思想をより一層進化させるバージョンアップです。

外部マスタークロックに対応

従来から持つワードクロック(同期信号)出力機能(WORD SYNC OUT)に加え、外部クロック同期機能(WORD SYNC IN)を追加し、外部マスタークロックジェネレーターによるワードシンク動作が可能になりました。

これにより、さらに高精度な外部マスタークロックジェネレーターを導入することによって、システム全体をグレードアップさせることが可能となりました。(エンテリックからは、マスタークロックジェネレーターG-0(高精度水晶発振器内蔵)/G-0s(ルビジウム発振器内蔵)を発売しております。)

最大192kHzのWORD SYNCに対応

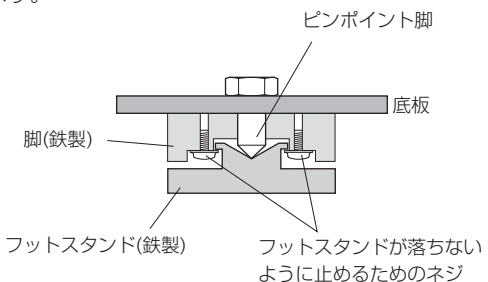
デジタル機器のハイサンプリング化に伴い、これまでの88.2kHz/96kHzに加え、176.4kHz/192kHzのワードクロック(同期信号)の入出力にも対応しました。

厳選された高品位パーツの採用

高精度なクロック動作に対応したパーツを厳選して採用しました。

さらに、初期型のD-70のお客様には、フットスタンド別体式のピンポイント脚から、確実な設置が可能なフットスタンド一体型のピンポイント脚への変更をさせていただきました。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。

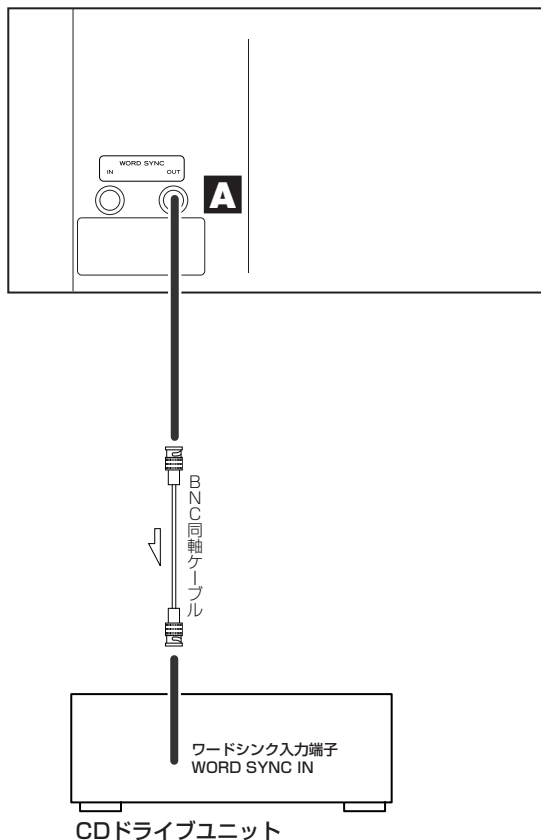


- 床を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

接 続

内部クロックを使用する場合

D-70



A ワードシンク出力端子

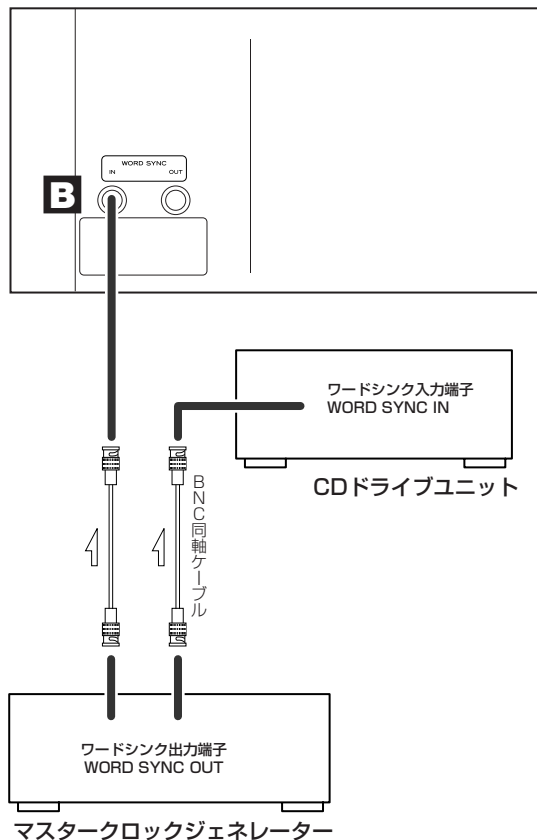
[WORD SYNC OUT]

ワードクロック(同期信号)を出力します。
ワードシンク機能を使うときは、本機のWORD SYNC OUT端子とデジタル機器(CDドライブユニットなど)のワードシンク入力端子を市販のBNC同軸ケーブルで接続してください。

- ワードシンク以外の接続については、D-70取扱説明書をご覧ください。

外部マスタークロックジェネレーターを使用する場合

D-70



B ワードシンク入力端子

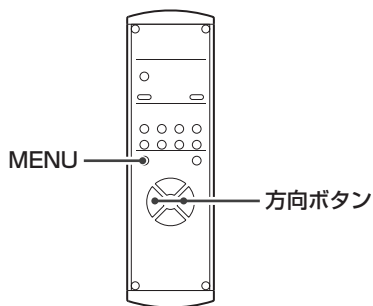
[WORD SYNC IN]

ワードクロック(同期信号)を入力します。
外部のマスタークロックジェネレーターのワードクロックを使うときは、本機のWORD SYNC IN端子とマスタークロックジェネレーターのワードシンク出力端子を市販のBNC同軸ケーブルで接続してください。

また、同時に接続して使うデジタル機器(CDドライブユニットなど)のワードシンク入力端子にも、マスタークロックジェネレーターのワードクロックを入力してください。

- ワードシンク以外の接続については、D-70取扱説明書をご覧ください。

ワードシンク設定



エソテリックP-0sバージョンアップやP-70またはマスタークロックジェネレーターなどのワードシンク対応機器と接続し、システムのクロック(同期信号)を一元化して再生したいときに使用します。

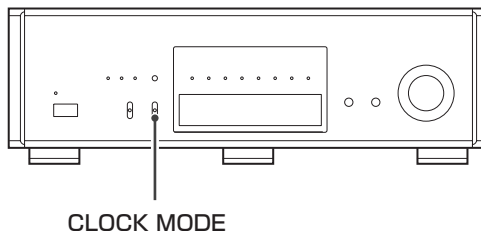
D-70からワードクロックを出力するマスターモードと、外部マスタークロックジェネレーターからワードクロックを入力するインプットモードがあります。

マスターモード

本機の内部クロックをマスターとして、WORD SYNC OUT端子からワードクロックを出力する場合は、ワードクロック周波数を設定してください。

(Aの接続の場合です。)

- 工場出荷時は、"44.1"に設定されています。WORD SYNC接続に対応したCD再生機と接続してワードシンク機能を使うときは、通常は"44.1"に設定してください。その他のWORD SYNC対応機器と接続する場合は、接続する機器が対応しているワード信号の周波数に合わせてください。
- エソテリックP-70をお使いの場合は、"44.1" "88.2"に設定できます。
エソテリックP-0sバージョンアップをお使いの場合は、"44.1" "88.2" "176.4"に設定できます。
- ここで設定したワードクロックの周波数と、接続した機器から入力されたオーディオ信号が同期していないと、"WORD ERROR"が表示されます。その場合はワードクロックの周波数を変更してください。また、接続した機器がワードシンクモードで動作しているかどうか確認してください。



インプットモード

外部マスタークロックジェネレーターを接続して使用するときは、IN M1またはIN M2を選んでください。

(Bの接続の場合です。)

- 入力可能なワードクロック周波数は、"44.1" "48" "88.2" "96" "176.4" "192" (kHz)です。
入力された周波数を自動的に検知して同期します。

IN M1 (モード 1)

高精度の外部クロックジェネレーターとの接続に最適化したモードです。

同期するまでの時間が長くなる場合があります。

"WORD UNLOCK!"という表示がでる場合は、IN M2を選んでください。

IN M2 (モード 2)

広い入力可能レンジを持つため、より多くの外部クロックジェネレーターとの接続に対し安定して動作するモードです。

- あらかじめWORD SYNC端子を接続しておいてください。
- この設定は、基本的にD-70の設定の方法と変わりません。D-70取扱説明書の19ページを以下のように読み替えてください。

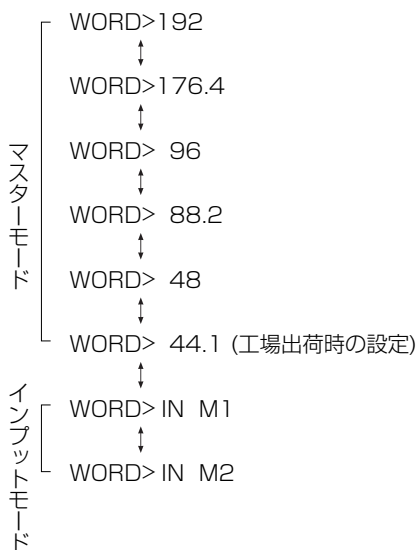
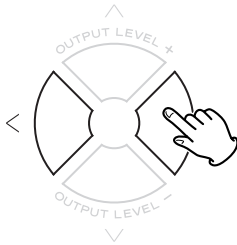
1 MENUボタンを2回押す。

ワードクロックの設定画面になります。



2 設定を変更する。

方向ボタン(< >)で選んでください。



3 MENUボタンを押す。

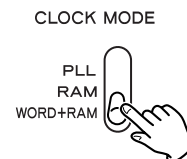


設定画面を終了します。このとき、変更した内容が保存されます。

- メニュー画面を終了しないで電源を切ると、故障の原因になります。
- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

4 WORD+RAMモードにする。

フロントパネルのCLOCK MODEスイッチを"WORD+RAM"にすると、設定したモードでワードシンク動作をします。



困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。(D-70取扱説明書もご覧ください)

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

"NO WORD"が表示される。

- ➔ ワードクロックが入力されていません。外部マスタークロックジェネレーターとの接続を確認してください。
- ➔ 外部マスタークロックジェネレーターを接続しない場合は、マスターモードで使用してください。(5ページ)

"WORD UNLOCK!"が表示される。

"Locking."が表示されたままになる。

- ➔ 同期できないワードクロックが入力されています。入力可能ワードクロック周波数の中から選んで入力してください。
外部マスタークロックジェネレーターの設定については、その機器の取扱説明書をお読みください。
- ➔ IN M1モードで同期が取れない場合、IN M2モードに切り換えてみてください。(4ページ)

"WORD ERROR"が表示される。

- ➔ マスターモードで設定したワードクロックの周波数と、接続した機器から入力されたオーディオ信号が同期していないと、"WORD ERROR"が表示されます。
その場合はワードクロックの周波数を変更してください。(5ページ)
- ➔ 外部マスタークロックジェネレーターから入力されたワードクロックの周波数とオーディオ信号が同期していない場合は、マスタークロックジェネレーターのワードクロックの周波数を変更してください。

仕様

ワードクロック周波数(入力/出力)

44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 (kHz)

ワードクロック入力周波数レンジ

±75ppm

ワードクロック入力レベル

TTLレベル相当/75Ω (BNC)

付属品

フェルト×3 (脚変更のお客様のみ)
取扱説明書(本書)

仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

このバージョンアップには保証書が添付されています。保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証対象となるのはバージョンアップ部分です。また、保証期間はお渡し日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：マルチD/Aコンバーター D-70バージョンアップ
バージョンアップお渡し日：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

ティアック株式会社

ティアック エンテリック カンパニー
〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。